

令和8年度第1回南砺市総合公共交通計画等検討委員会 次第

日時 令和8年8月6日(木) 14時00分～

場所 南砺市役所 別館3階大ホール

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 会長・副会長の選任

4. 会長挨拶

5. 協議事項

(1) 市営バス時刻表・運行ルート等の改正について

自家用有償旅客運送（市営バス）の更新登録の申請について

資料1

(2) 公共ライドシェア事業における運送対価の変更について

公共ライドシェア事業の実施状況について

資料2

(3) 南砺市地域公共交通計画（R6～R10）の中間評価について

資料3

6. 報告事項

(1) 子どもの放課後クラブ活動送迎支援について

資料4

7. 閉 会

<参考資料>

(1) 市営バス・民間路線バスの運行状況について

資料5

(2) 井波地域・城端地域デマンドタクシー事業の実施状況について

資料6

(3) 城端線・氷見線再構築実施計画の実施状況について

資料7

市営バス時刻表・運行ルート等の10月改正について

1. 趣旨

市営バス「なんバス」の利用者数は、コロナ禍による利用者数減少から大きく回復しておらず、横ばいで推移している状況。しかしながら、運行経費は、燃料費や人件費、その他所要経費（修繕費、車両購入費）の高騰により年々増加しており、事業経営はきわめて深刻な状況。将来にわたり持続可能な市営バス事業を継続するため、既存市営バス路線を再編し、効率的かつ利便性の高い公共交通の体制構築を目指す。

2. 概要

一部路線で、現在の利用状況や利用者・地域住民の要望に応じて、停留所及び運行ルートを変更する。また JR 及び民間路線バスが運行するダイヤの接続にあわせて時間の調整を行う。

<主な改正内容>

①安居循環線（右回り）（2 便）、安居循環線（左回り）（1 便）

ー「ふくの若葉病院」バス停の新設

※10 月ダイヤ改正時より全バス停、デマンド区間で運行

②福野・井波・井口循環線（右回り）（左回り）（両 3 便、両 4 便）

ー「ラフォーレ前」バス停、「井波総合文化センター」バス停の新設

3. 周知方法

- ・市広報・ホームページへの掲載
- ・大幅な変更のあった地域への広報

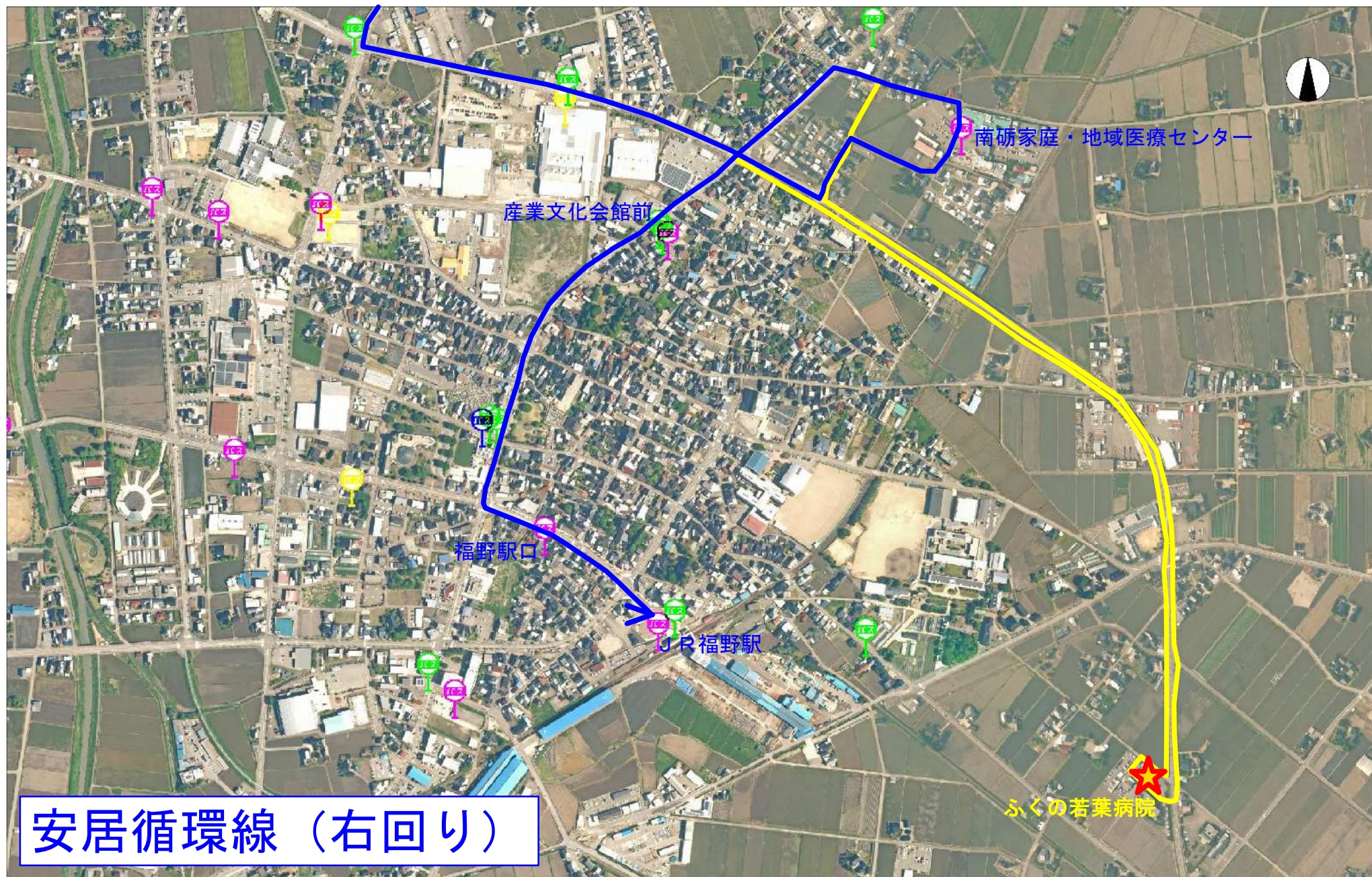
4. 今後に向けて

- ・令和 9 年初夏のプレイアースパーク開園に向けた対応について
- ・学校再編等に向けた対応について
- ・デマンドタクシーのエリア拡大検討





安居循環線（左回り）



未来創造第 号
令和 8 年 月 日

北信越運輸局 富山運輸支局長 殿

名 称	南砺市
住 所	南砺市荒木 1 5 5 0 番地
代表者の氏名	南砺市長 田中 幹夫

自家用有償旅客運送の更新登録の申請

このたび、自家用有償旅客運送の有効期間の更新を行いたいので、道路運送法第 7 9 条の 6 及び同法施行規則第 5 1 条の 1 0 の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 名称、住所、代表者の氏名

南砺市
南砺市荒木 1 5 5 0 番地
南砺市長 田中 幹夫

2. 登録番号

北富市交 第 8 号

3. 自家用有償旅客運送の種別

交通空白地有償運送

公共ライドシェア事業における運送対価の変更について

1. 概要

富山地区のタクシー運賃及び料金に係る初乗距離を短縮する場合の距離について北陸信越運輸局より公示があり、従来の初乗距離が短縮されたため、タクシー運賃と同程度としている公共ライドシェアの運賃料金について計算方法の変更を行うもの。

2. 公示内容

別紙「一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）の運賃及び料金に係る初乗距離及び初乗距離を短縮する場合の距離について」

新					旧				
公 示					公 示				
公示第18号 一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）の運賃及び料金に係る初乗距離及び初乗距離を短縮する場合の距離について 「一般乗用旅客自動車運送事業の運賃及び料金に関する制度について」（平成14年7月1日付け公示第14号）1. (3)イに規定する初乗距離及び初乗距離を短縮する場合の距離について、下記のとおり公示する。 平成14年7月1日 北陸信越運輸局長 武藤 秀一					公示第18号 一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）の運賃及び料金に係る初乗距離及び初乗距離を短縮する場合の距離について 「一般乗用旅客自動車運送事業の運賃及び料金に関する制度について」（平成14年7月1日付け公示第14号）1. (3)イに規定する初乗距離及び初乗距離を短縮する場合の距離について、下記のとおり公示する。 平成14年7月1日 北陸信越運輸局長 武藤 秀一				
記					記				
運賃適用地域名	営業区域	初乗距離	初乗距離を短縮する場合の距離		運賃適用地域名	営業区域	初乗距離	初乗距離を短縮する場合の距離	
新潟地区	新潟県A地区	新潟市A（新潟市のうち、平成17年3月21日合併前の新潟市及び平成17年3月21日に編入された旧豊栄市、旧中蒲原郡亀田町の区域）、北蒲原郡聖籠町の区域	1.01km	左の初乗距離から車種区分に応じて認可を受けた加算距離一回分を控除した距離とする。	新潟地区	新潟県A地区	新潟市A（新潟市のうち、平成17年3月21日合併前の新潟市及び平成17年3月21日に編入された旧豊栄市、旧中蒲原郡亀田町の区域）、北蒲原郡聖籠町の区域	1.0km	左の初乗距離から車種区分に応じて認可を受けた加算距離一回分を控除した距離とする。
	新潟県B地区	旧新潟県A地区を除く新潟県の全域	1.08km	同上		新潟県B地区	旧新潟県A地区を除く新潟県の全域	1.03km	同上
石川地区	石川県の全域	1.22km	同上		石川地区	石川県の全域	1.22km	同上	
富山地区	富山県の全域	0.93km	同上		富山地区	富山県の全域	1.03km	同上	
長野地区	旧長野県A地区	長野市A（長野市のうち、平成17年1月1日合併前の長野市及び平成17年1月1日に編入された旧更級郡大岡村、旧上水内郡戸隠村・鬼無里村の区域）、千曲市、埴科郡の区域	1.18km	同上	長野地区	旧長野県A地区	長野市A（長野市のうち、平成17年1月1日合併前の長野市及び平成17年1月1日に編入された旧更級郡大岡村、旧上水内郡戸隠村・鬼無里村の区域）、千曲市、埴科郡の区域	1.18km	同上
	旧長野県B地区	旧長野県A地区を除く長野県の全域	1.19km	同上		旧長野県B地区	旧長野県A地区を除く長野県の全域	1.19km	同上
附 則（平成14年7月1日付け公示第18号） 1. この公示は、平成14年7月1日から適用する。 2. 「一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）の運賃及び料金に係る初乗距離及び初乗距離を短縮する場合の距離について」（平成14年4月17日付け公示第4号）は、平成14年6月30日限りで廃止する。 （略） 附 則（令和8年6月12日付け公示第19号で一部改正） 1. この公示は、令和8年6月12日から適用する。 2. 初乗距離を変更した運賃については、令和8年7月13日から適用する。					附 則（平成14年7月1日付け公示第18号） 1. この公示は、平成14年7月1日から適用する。 2. 「一般乗用旅客自動車運送事業（タクシー）の運賃及び料金に係る初乗距離及び初乗距離を短縮する場合の距離について」（平成14年4月17日付け公示第4号）は、平成14年6月30日限りで廃止する。 （略）				

2. 変更内容

【当初申請時の運賃計算方法】

タクシーと同額：初乗600円（1.03kmまで）223mごとに100円加算

↓

【変更後】

タクシーと同額：初乗600円（0.93kmまで）195mごとに100円加算

＜参考＞ライドシェア運賃の計算方法

- ・アプリ上で入力された乗車地、目的地に基づき、2地点間の距離をシステムで自動計算する
- ・算出された距離に基づきタクシー運賃と同様の運賃計算をする
（タクシー運賃と同様の計算方法）
- ・算出された運賃をタクシー運賃と同程度とするため、ライドシェア運賃計算用の係数をかけることでライドシェア運賃が算出される

3. 変更スケジュール

本日（8月6日）：地域公共交通会議

8月中旬～下旬：システム改修（計算方法の修正）

9月～：変更後の計算方法で運行

公共ライドシェア事業の実施状況について

1. 運行概要

1	対象利用者	専用アプリを登録した住民又は来訪者
2	運行エリア	南砺市全域
3	利用範囲	南砺市内の発着利用者(市民、来訪者)
4	運行曜日	《平野部》木～土曜日 《山間部》月～金曜日
5	時間帯	《平野部》17時～24時 《山間部》9時～18時
6	車両	ドライバー所有の自家用車（軽自動車も可） ※企業等の事業者が所有する車両についても可能とする。
7	料金	タクシーと同額程度
8	配車方式	タクシー優先配車とし、タクシー事業者が配車不可の場合に ライドシェアドライバーへ配車依頼

2. ドライバー人数

令和8年7月末時点で井波、福光地域、利賀地域に在住の計6名とライドシェアドライバー契約を締結している状況であり、新規ドライバーの申し込みを随時受け付けている。

＜参考＞ドライバー募集条件

- ・応募時点で年齢21歳以上、70歳未満
- ・普通自動車第一種運転免許取得後3年以上
- ・スマートフォンをお持ちの方
- ・車両（定員4人以上）が持ち込み可能な方 ※軽自動車可

3. アプリ登録者数（令和8年6月末時点）

アプリダウンロード数：593件

利用者登録件数：373件

4. 利用者数（令和8年6月末時点）

アプリによる配車依頼件数：118件

タクシー予約成立件数：77件

ライドシェア予約成立件数：3件

5. 総括

アプリからの配車予約が少ないためにライドシェアへの依頼も少ない状況。利用促進として、市広報紙や SNS、ケーブルテレビ等での情報発信を実施したが、大きな利用者数増に繋がっていない状況。アプリを通じてタクシー配車依頼ができ、タクシーが配車されない場合に公共ライドシェアで補完する仕組みは、市民だけでなく今後期待される観光需要に対する対応策となりうるため、引き続きアプリの利用促進に積極的に取り組むとともに、観光施設や飲食店などが利用者の代理でアプリ予約をする仕組みづくりなどを検討し、さらなる利用拡大を目指す。

6. 今後の事業改善事項

・代理予約機能の検討

高齢者や南砺市に初めて訪れた方などがアプリを導入することに対してハードルがあるため、飲食店や宿泊施設、観光施設側が利用者の代理で予約できる仕組みを検討する。

・アプリの機能追加

デマンドタクシー事業などの予約機能をアプリに追加することを検討し、交通アプリとして日常的に使用する習慣付けを行い、アプリからのタクシー、ライドシェア利用に繋げる。

計画期間である令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間の中間年度（令和 8 年度）において、中間評価を行い計画後期に向けた改善点等の抽出を行うこととしている。このことから、計画策定から中間年度にあたる本年度において、計画に位置付けた目標に対する事業実施状況や進捗状況について、確認・協議・評価を受け、今後のより効果的な施策の実行に繋げる。

1. 計画の実施状況について

資料 3 別紙「地域公共交通計画進捗状況」 のとおり

2. 達成状況の評価について

目標 1 地域拠点を中心としたコンパクトアンドネットワークを構築する。

1-1 基幹路線（ＪＲ城端線・都市間基幹バス・加越能バス路線）のより一層の利用者増を目指した利便性の向上と利用促進活動を進める。

評価項目 ＪＲ城端線・基幹バスの利用者増加基調への回復

達成目標	令和 6 年度	令和 7 年度
ＪＲ城端線および基幹バスの全路線の合計利用者が 2019 年度の値（128.1 万人）を上回る。 ※Ｒ４廃線の名金線分を除く	未達成 利用者数：112.7 万人 達成率：88%	未達成 利用者数：113.8 万人 達成率：88.8%
観光関連路線の利用者数は 2019 年度の値（6.65 万人）を上回る。	未達成 利用者数：4.42 万人 達成率：66.5%	未達成 利用者数：4.34 万人 達成率：65.3%
市民一人当たりの公共交通利用回数（市民バス含む）が、2019 年度の 28.9 回を上回る 35 回とする。	未達成 市民一人当たり：27 回 達成率：77.1%	未達成 市民一人当たり：27.7 回 達成率：79.1%

1-2 市営バスは、基幹路線を補完して地域拠点・病院・各集落を結ぶ重要な路線として引き続き運行し、必要に応じて改良を進める。（実施主体:市）

評価項目 拠点間の利便性確保

達成目標	令和 6 年度	令和 7 年度
4 主要拠点（城端・井波・福野・福光）相互間のすべてで 13 往復以上（ＪＲ城端線・路線バスとの合計で）の確保	未達成（城端井波間 8 往復） 往復を増やすことで利便性は高くなるが、持続可能な交通体系構築のために利用者数が少ない便の再編を行うことも並行して検討する必要があるため目標達成が困難。	未達成（城端井波間 8 往復） 左記同様

4 主要拠点からいずれかの病院へ外来診療時間帯に1時間に1往復以上	達成	達成
平、上平、利賀、井口からいずれかの主要拠点および病院に向けて5往復以上	未達成 利賀：3往復 平・上平：4.5往復	未達成 利賀：3往復 平・上平：4.5往復
統合後の市庁舎へ市内すべてのバス停から1回以内の乗換で到達	未達成 (祖山線及び利賀八尾線沿線) コンビニ交付や電子申請の拡大に伴い、市庁舎へ来なくても手続きが可能のため、目標達成の必要性が低い。	未達成 (祖山線及び利賀八尾線沿線) 左記同様
すべての地区から鉄道駅に乗り換えなしに到達	未達成 (祖山線及び利賀井波線沿線) 市域が広い、すべての地区から鉄道駅に到達するためには該当2路線の運行距離・時間が長くなり、効率的な運行にならないため、目標達成が困難。	未達成 (祖山線及び利賀井波線沿線) 左記同様

- 1-3 基幹路線と市営バスによる連携ネットワークの構築に向けて、路線およびダイヤのより一層の整合を図る。(実施主体：市・JR西日本・バス事業者)

評価項目 ダイヤと乗り継ぎ利便性の向上

達成目標	令和6年度	令和7年度
JR城端線の運行間隔を、「城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画」に基づいてできるだけ早い時期に昼間30分間隔とすることを目指すとともに、当面は最大1時間（現在は城端発1時間27分が最大）とすることを目指す。	城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画により運行間隔の短縮、パターンダイヤ化に向けて協議が進んでいる。 (R6 城端発1時間38分が最大)	左記同様 (R7 城端発1時間22分が最大)
福野、福光、城端の3駅において、鉄道→バス、バス→鉄道の平均乗換時間を2019年度ダイヤより短縮	維持 (R6 平均乗換時間27分)	維持 (R7 平均乗換時間27分)
主要路線のすべてにおいて鉄道・バスダイヤの等間隔化	未達成 JR城端線、民間路線バスのダイヤと合わせて市営バスのダイヤを検討する必要があるため、達成が困難。	未達成 左記同様

目標 2 公共交通情報提供の先進モデルを目指す

- 2-1** 高齢者を含めたあらゆる市民および来訪者にわかりやすい情報提供を行う。
(実施主体 市・市民団体・大学等)

評価項目 情報提供手法の増加

達成目標	令和 6 年度	令和 7 年度
すべての大手検索サイトで時刻表検索を可能とする。	達成 (Google、Yahoo! JAPAN において検索が可能)	達成 左記同様

- 2-2** バス情報標準フォーマットデータを活用して、さらに便利な情報システムを構築する。
(実施主体:市・市民団体・大学等)

評価項目 地域 MaaS アプリの提供

達成目標	令和 6 年度	令和 7 年度
「my route 富山」など地域 MaaS アプリの活用を推進	達成 (my route 富山において市営バスの検索が可能)	達成 左記同様

- 2-3** 端末機器等を持たない市民に向けた紙レベルでのきめ細かい情報提供も行う。
(実施主体:市・市民・市民団体)

評価項目 紙レベルでのきめ細かい情報提供

達成目標	令和 6 年度	令和 7 年度
8 拠点（旧町村の中心駅・バス停）と 3 病院の相互間の紙時刻表を作成	未達成（未着手）	未達成（未着手）
8 拠点から主要目的地（富山・金沢・東京・関西・名古屋へのそれぞれの時刻表）をすべて作成	未達成（未着手）	未達成（未着手）

目標 3 広域的な交通と観光における拠点化を進める

- 3-1** 拠点となる駅・バス停を交通ハブ（モビリティセンター）として充実を図る
（実施主体：市・JR西日本・バス事業者）

評価項目 交通ハブ（モビリティセンター）の進展

達成目標	令和6年度	令和7年度
駅舎、待合室、情報提供システム等の改善（福野・福光・城端の3駅、井波、城端ハイウェイオアシス）	城端ハイウェイオアシスにおいて待合所を移設整備。 城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画により各駅の交通系ICカードの対応など、各駅の改善について協議が進んでいる。	各駅において交通系ICカードが使用可能となるなど、城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画と合わせて各駅の改善が進んでいる。
福野・福光・城端の3駅（13に記載）に加えて、井波、城端ハイウェイオアシスで平均乗継時間を2019年度ダイヤより短縮する。 ※2019年度 井波：市→民間バス28分 民間→市バス30分 城端：市→民間バス41分 民間→市バス39分	未達成 井波：市→民間バス30分 民間→市バス30分 城端：市→民間バス49分 民間→市バス62分	未達成 井波：市→民間バス28分 民間→市バス30分 城端：市→民間バス50分 民間→市バス58分

- 3-2** 金沢・高岡・白川郷・高山などの広域観光の拠点の1つとなるネットワークの充実を図る。
（実施主体：市・JR西日本・バス事業者）

評価項目 観光流動の上昇

達成目標	令和6年度	令和7年度
都市間観光関連路線の利用者数は2019年度の値を上回る。※6.65万人	未達成 利用者数：4.42万人 達成率：66.5%	未達成 利用者数：4.34万人 達成率：65.3%

目標 4 誰もが利用でき、便利で安全快適に移動できる地域交通サービスを導入する

- 4-1** 基幹路線と市営バスではカバーできない交通ニーズに対応する新たなシステムを検討し、必要に応じて実証実験を行う。（実施主体 市・市民・大学等）

評価項目 デマンド運行、ライドシェア等を含めた新たな交通システムの検討、社会実験の実施

達成目標	令和6年度	令和7年度
新たな地域交通システム等について実証実験を行うとともに本格運行を目指す	達成 井波地域デマンドタクシー 公共ライドシェア事業実施	達成 城端地域デマンドタクシー事業実施

南砺市地域公共交通計画の中間評価について(R6～R10)

目標 1. 地域拠点を中心としたコンパクトアンドネットワークを構築する。

1-1 基幹路線(JR城端線・都市間基幹バス・加越能バス路線)のより一層の利用者増を目指した利便性の向上と利用促進活動を進める。

評価項目 JR城端線・基幹バスの利用者増加基調への回復

達成目標	令和6年度	令和7年度
JR城端線および基幹バスの全路線の合計利用者が2019年度の値(128.1万人)を上回る。※R4路線の名金線分を除く	未達成 (利用者数:112.7万人 達成率:88%)	未達成 (利用者数:113.8万人 達成率:88.8%)
観光関連路線の利用者数は2019年度の値(6.65万人)を上回る。	未達成 (利用者数:4.42万人 達成率:66.5%)	未達成 (利用者数:4.34万人 達成率:65.3%)
市民一人当たりの公共交通利用回数(市民バス含む)が、2019年度の28.9回を上回る35回とする。	未達成 (市民一人当たり27回 達成率:77.1%)	未達成 (市民一人当たり27.7回 達成率:79.1%)

●各事業の実施状況

①JR城端線の活性化(実施主体:市・市民・JR西日本)

事業内容	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容	令和8年度以降の取り組み
地域の骨格路線として維持することはもちろん、利用者増の傾向をさらに継続・促進するために、より便利で利用しやすい路線となるよう、駅舎等の改善や利用促進活動を事業者と連携して実施する。	沿線市等で構成される城端・氷見線活性化推進協議会で城端線の運行等、利用促進策を実施した。市民団体による城端線利活用に向けた講演会が開催され、城端線をはじめとする地域公共交通への理解の浸透及び普及啓発が図られた。	沿線市等で構成される城端・氷見線活性化推進協議会で城端線の運行等、利用促進策を実施した。市民団体による城端線各駅の利活用検討シンポジウムが開催され、利活用にに向けた理解の浸透及び気運醸成が図られた。空きスペースができる福野駅の利活用にに関するアンケートを実施した。	沿線市等で構成される城端・氷見線活性化推進協議会で城端線の運行等、利用促進策を実施する。城端地域で発足した城端駅再構築検討委員会において、城端駅の利活用やにぎわい創出について議論。福野駅の空きスペースについて、「なんと未来創造塾なんチャレ2026」において学生が意見を出し合い、より良い活用にに向けた事業を実施する。
増便運行の実施、城端線を利用する団体への補助金など、城端線・氷見線活性化推進協議会や南砺市単独でこれまで実施してきた城端線活性化策は引き続き実施し、ダイヤについては、昼間時間帯における30分の等間隔ダイヤの実現を目指す。	城端・氷見線活性化推進協議会から城端線の利用促進に資するイベント等への助成を実施している。	城端・氷見線活性化推進協議会から城端線の利用促進に資するイベント等への助成を実施している。城端線・氷見線再構築会議作業チームにおいてパターンダイヤについて議論開始。	城端・氷見線活性化推進協議会から城端線の利用促進に資するイベント等への助成を実施。「城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画」に基づき、昼間時間帯における増便、パターンダイヤ化について具体的なダイヤの協議。
市民に城端線の活性化の取組に関心を持ってもらい、市民参加型イベントへの参加や城端線の積極的な活用を促す。	「南砺市城端線で出かけよう事業補助金」事業、「南砺市城端線で体験学習事業補助金」事業を実施した。	「南砺市城端線で出かけよう事業補助金」事業を実施した。市民有志が開催する交通市民会議へ広報誌等で参加を呼び掛けた。城端線・氷見線新型車両の模型展示イベントを市内の商業施設で実施し、城端線利活用の気運醸成を行った。	市民有志が開催する交通市民会議へ広報誌等での参加を呼びかけ。駅舎魅力向上による城端線利用促進活動を実施。
「城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画」の内容を踏まえ、本市として実施すべき事項を積極的に行う。	R6年2月に「城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画」が改正地域交通法施行後第1号の計画として、国土交通大臣の認定を受ける。設置要綱改正により「再構築検討会」から「再構築会議」へ変更。新型車両、ICカード対応改札機、パターンダイヤ等について議論開始。旅客利用調査、人流センサー設置に対し負担金拠出。	再構築会議・作業チームに参加し、市としての意向、要望を伝えた。施設整備費用について沿線4市の負担割合決定。ICカード化について、重点的に周知を実施。人流センサー管理、利用予測調査、気運醸成事業等に負担金拠出。施設整備費用に負担金拠出。	施設整備費用の負担金拠出。人流センサーによる乗降調査、城端線・氷見線事業構造変更プログラム策定事業、城端線・氷見線直通化調査、気運醸成事業等に負担金拠出。簡易委託駅の駅体制について協議。小・中学生に対する気運醸成事業実施。

②都市間基幹バス・一般路線バスの活性化(実施主体:市・市民・バス事業者)

都市間高速バス・市外への広域バス・路線バスは、都市の移動を支える重要な軸として、積極的に広報・利用促進等に努める。シルバーバスの利用などこれまでに実施してきた施策は引き続き実施する。	民間路線バスの市内区間で市営バスの回数券を使用可能にし、通学や通勤における利用促進を図っている。シルバーバスの利用も可能としている。	民間路線バスの市内区間で市営バスの回数券を使用可能にし、通学や通勤における利用促進を図っている。シルバーバスの利用も可能としている。	市営バス回数券及びシルバーバスでの民間路線バス利用可能事業を継続するとともに、市営バス時刻表等にも掲載するなど、分かりやすく効果的な利用促進策を展開する。
加越能バスが運行する世界遺産バスは観光利用とともに、五箇山地域内の住民移動バスとしても活用する。	・世界遺産バスは観光利用に活用するとともに、五箇山地域内の住民移動バスとしても活用している。	・世界遺産バスは観光利用に活用するとともに、五箇山地域内の住民移動バスとしても活用している。	・地域住民の移動手段として、城端線や民間路線・市営バスとの接続に配慮するとともに、インバウンド需要の取り込みを図り、運休便の運行再開を目指す。
加越能バスの南砺金沢線は、金沢市内への移動や、福井・関西・中京方面への利便性の向上にもつながる重要路線として広報・利用促進を積極的に展開する。	利用促進チラシを作成し、各観光案内所、駅等に設置。	利用促進チラシを作成し、各観光案内所、駅等に設置。	利用促進チラシを作成し、各観光案内所、駅等に設置。インバウンド向けに英語版チラシを増刷。
小牧線、加越線は、市外への移動に加えて、福野・井波など市内拠点間を結ぶネットワークの一翼を担う路線としても活用する。	各路線とも、市内拠点間を結ぶ重要な路線として位置付け、引き続き年間利用者数・乗降調査結果などの情報収集を行った。	各路線とも、市内拠点間を結ぶ重要な路線として位置付け、引き続き年間利用者数・乗降調査結果などの情報収集を行った。	各路線とも、市内拠点間を結び、市外への移動にも供される重要路線として活用し、利用促進施策も検討する。 ・加越線について、井波地域からの通学利用に係る利便性向上を図る。
市民に各種バスの活性化の取組みに関心を持ってもらい、バスの積極的な利用を促す。	広報誌での定期的な利用促進記事掲載。	広報誌での定期的な利用促進記事掲載。	広報誌での定期的な利用促進記事掲載。 新しくできる観光施設への移動に市営バス利用をPRする。

1-2 市営バスは、基幹路線を補完して地域拠点・病院・各集落を結ぶ重要な路線として引き続き運行し、必要に応じて改良を進める。(実施主体:市)

評価項目 拠点間の利便性確保

達成目標	令和6年度	令和7年度
4主要拠点(城端・井波・福野・福光)相互間のすべてで13往復以上(JR城端線・路線バスとの合計で)の確保	未達成(城端井波間8往復) 往復を増やすことで利便性は高くなるが、持続可能な交通体系構築のために利用者数が少ない便の再編を行うことも並行して検討する必要があるため目標達成が困難。	未達成(城端井波間8往復) 往復を増やすことで利便性は高くなるが、持続可能な交通体系構築のために利用者数が少ない便の再編を行うことも並行して検討する必要があるため目標達成が困難。
4主要拠点からいずれかの病院へ外来診療時間帯に1時間に1往復以上	達成	達成
平、上平、利賀、井口からいずれかの主要拠点および病院に向けて5往復以上	未達成(利賀3往復、平・上平4. 5往復))	未達成(利賀3往復、平・上平4. 5往復))
統合後の市庁舎へ市内すべてのバス停から1回以内の乗換で到達	未達成(祖山線及び利賀八尾線沿線) コンビニ交付や電子申請の拡大に伴い、市庁舎へ来なくても手続きが可能のため、目標達成の必要性が低い。	未達成(祖山線及び利賀八尾線沿線) コンビニ交付や電子申請の拡大に伴い、市庁舎へ来なくても手続きが可能のため、目標達成の必要性が低い。
すべての地区から鉄道駅に乗り換えなしに到達	未達成(祖山線及び利賀井波線沿線) 市域が広いため、すべての地区から鉄道駅に到達するためには該当2路線の運行距離・時間が長くなり、効率的な運行にならないため、目標達成が困難。	未達成(祖山線及び利賀井波線沿線) 市域が広いため、すべての地区から鉄道駅に到達するためには該当2路線の運行距離・時間が長くなり、効率的な運行にならないため、目標達成が困難。

●各事業の実施状況

事業内容	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容	令和8年度以降の取り組み
市営バスの路線・ダイヤは、維持・継続することを基本とする。	通勤・通学の時間帯のダイヤを改正し、安全に運行ができ、なおかつ他公共交通機関への接続を考慮したダイヤとした。	利用者が少ない路線・便を再編対象とし、路線の休止や減便、デマンドバス化を行い、利用者がいない運行を削減した。	引き続き利用者が少ない路線・便の再編を検討し、休止や減便だけでなく代替交通手段の検討を行うとともに、移動需要が高い地域、施設などへ行けるよう、運行ルートの変更を検討する。
城端線や都市間基幹・一般バスとの接続等を考慮した路線・ダイヤの見直しを検討する。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
主要拠点(城端・井波・福野・福光(以下、同様))を結ぶ路線は、城端線・路線バスと合わせて利便性を高め、これらの主要拠点相互間はできるだけ直通便1日13往復程度の運行を行う。また、これらの主要拠点から病院への路線については、いずれかの病院に向けて外来診療の時間帯において1時間に1便程度運行することを目指す。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
平・上平・利賀・井口の4地域については、いずれかの主要拠点に向けて1時間に1便程度、いずれかの病院や診療所に向けて外来診療の時間帯に1時間に1便程度の運行を目指す。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
高校再編等による移動ニーズの変化に対応した路線を検討する。	未着手	需要の多い温浴施設前にバス停を新設したほか、一部路線では移動需要に合わせて交流センター及び主要道路を運行するルートに変更した。	実施予定である福光地域の小中学校の学校統合について、教育委員会と連携しながら移動需要の変化に対応する路線構築や実情に即した運行方法を検討する。
利用の少ない路線の維持検討のための基準を作成することが望ましい。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
路線維持のための地域の活動を促進する。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
公共交通とスクールバスなど各種送迎バス等を最適化し、将来にわたって持続可能な交通体系を目指す。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価

1-3 基幹路線と市営バスによる連携ネットワークの構築に向けて、路線およびダイヤのより一層の整合を図る。(実施主体:市・JR西日本・バス事業者)

評価項目 ダイヤと乗り継ぎ利便性の向上

達成目標	令和6年度	令和7年度
JR城端線の運行間隔を、「城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画」に基づいてできるだけ早い時期に昼間30分間隔とすることを旨とするともに、当面は最大1時間(現在は城端発1時間27分が最大)とすることを旨とする。	城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画により運行間隔の短縮、パターンダイヤ化に向けて協議が進んでいる。 (R6 城端発1時間38分が最大)	城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画により運行間隔の短縮、パターンダイヤ化に向けて協議が進んでいる。 (R7 城端発1時間22分が最大)
福野、福光、城端の3駅において、鉄道→バス、バス→鉄道の平均乗換時間を2019年度ダイヤより短縮(27分)	維持 (R6 平均乗換時間27分)	維持 (R7 平均乗換時間27分)
主要路線のすべてにおいて鉄道・バスダイヤの等間隔化	未達成 JR城端線、民間路線バスのダイヤと合わせて市営バスのダイヤを検討する必要があるため、達成が困難。	未達成 JR城端線、民間路線バスのダイヤと合わせて市営バスのダイヤを検討する必要があるため、達成が困難。

●各事業の実施状況

事業内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度
城端線、都市間基幹バス、市営バスの連携によって、市全体の公共交通ネットワークの利便性をさらに向上させるため、接続ダイヤの設定等について事業者と密接に協議する。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
接続利便性の向上に加えて、同一方向に向かう路線についてはできるだけ等間隔化を目指す。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
五箇山・井波・城端をはじめとする市内の観光拠点間を結ぶ路線の充実を図る。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価

目標2. 公共交通情報提供の先進モデルを目指す

2-1 高齢者を含めたあらゆる市民および来訪者にわかりやすい情報提供を行う。(実施主体 市・市民団体・大学等)

評価項目 情報提供手法の増加

達成目標	令和6年度	令和7年度
すべての大手検索サイトで時刻表検索を可能とする。	達成 (Google、Yahoo!JAPANにおいて検索が可能)	達成 (Google、Yahoo!JAPANにおいて検索が可能)

●各事業の実施状況

事業内容	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容	令和8年度以降の取り組み
情報提供の充実 地方都市におけるMaaSの先進モデルを目指す。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価

2-2 バス情報標準フォーマットデータを活用して、さらに便利な情報システムを構築する。(実施主体:市・市民団体・大学等)

評価項目 地域MaaSアプリの提供

達成目標	令和6年度	令和7年度
「my route富山」など地域MaaSアプリの活用を推進	達成 (my route富山において市営バスの検索が可能)	達成 (my route富山において市営バスの検索が可能)

●各事業の実施状況

事業内容	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容	令和8年度以降の取り組み
全バス路線のGTFSデータが整備されていることを活かして、地方都市としては先進的な公共交通情報の提供を行うことを目指す。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
市民の日常利用のみならず、観光客が市内および市周辺部の観光地を周遊することができるようにするための情報システムを「富山my route推進協議会」などと連携して推進する。	未着手	未着手	令和6年度に導入した交通アプリ「なんモビ」への機能追加を検討する。
リアルタイムGTFSから得られるデータを市営バス等のダイヤ作成に活用する。	未着手	GTFSから得られる運行データに基づき、遅延が起きやすい路線や便のダイヤ改正を実施した。	引き続きGTFSから得られる運行データに基づき、遅延が起きやすい路線や便のダイヤ改正、効率の良い運行ルート設定を検討する。

2-3 端末機器等を持たない市民に向けた紙レベルでのきめ細かい情報提供も行う。(実施主体:市・市民・市民団体)

評価項目 紙レベルでのきめ細かい情報提供

達成目標	令和6年度	令和7年度
8拠点(旧町村の中心駅・バス停)と3病院の相互間の紙時刻表を作成	未達成(未着手)	未達成(未着手)
8拠点から主要目的地(富山・金沢・東京・関西・名古屋へのそれぞれの時刻表)をすべて作成	未達成(未着手)	未達成(未着手)

●各事業の実施状況

事業内容	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容	令和8年度以降の取り組み
高齢者を含めたあらゆる市民および来訪者にわかりやすい情報提供を行うため、従来型の路線別時刻表に加えて、個別のニーズに応じた時刻表も作成する。	未着手	未着手	バス利用者の多い病院施設や観光案内所などにおいて、目的地別の簡易時刻表を作成し、利用者の利便性向上を図る。
拠点相互間(8拠点・3病院の相互間)について、乗継便も含めたすべての便が一覧になって掲載されている時刻表を作成する。	未着手	未着手	必要に応じて地域相互間時刻表を作成する。
主要目的地別時刻表(例えば8拠点から富山・金沢・関西・東京・名古屋へのそれぞれ時刻表)を作成する。	未着手	未着手	必要に応じて主要目的地別時刻表を作成する。

目標3. 広域的な交通と観光における拠点化を進める

3-1 拠点となる駅・バス停を交通ハブ(モビリティセンター)として充実を図る(実施主体:市・JR西日本・バス事業者)

評価項目 交通ハブ(モビリティセンター)の進展

達成目標	令和6年度	令和7年度
駅舎、待合室、情報提供システム等の改善(福野・福光・城端の3駅、井波、城端ハイウェイオアシス)	城端ハイウェイオアシスにおいて待合所を移設整備。 城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画により各駅の交通系ICカードの対応など、各駅の改善について協議が進んでいる。	各駅において交通系ICカードが使用可能となるなど、城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画と合わせて各駅の改善が進んでいる。
福野・福光・城端の3駅(1-3に記載)に加えて、井波、城端ハイウェイオアシスで平均乗継時間を2019年度ダイヤより短縮する。 ※2019年度井波:市→民間バス28分 民間→市バス30分 城端:市→民間バス41分 民間→市バス39分	未達成 井波:市→民間バス30分 民間→市バス30分 城端:市→民間バス49分 民間→市バス62分	未達成 井波:市→民間バス28分 民間→市バス30分 城端:市→民間バス50分 民間→市バス58分

●各事業の実施状況

事業内容	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容	令和8年度以降の取り組み
城端駅は、駅舎・待合室・情報提供システム等の改善を引き続き進めるとともに、城端線とバスとの結節性を高めてハブ化を一層進展させる。	城端駅において、城端線をはじめ民間路線バス、市営バスとの接続を重視したダイヤ編成を行った。	城端駅において、城端線をはじめ民間路線バス、市営バスとの接続を重視したダイヤ編成を行った。	城端線氷見線再構築実施計画による増便やパターンダイヤ化となった場合の接続を高め、利便性の向上を図る。
福野駅、福光駅、および各方面からのバス路線が集結している井波バス停においても同様に鉄道・バス相互間の乗継接続をできるかぎり改善してハブ化を進める。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
高速バスが発着する城端ハイウェイオアシスも交通ハブの1つであり、市営バスとのダイヤ接続やパークアンドライドの実施を進める。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
城端線各駅やバス停においてもパークアンドライドの充実・拡大を図る。	令和10年度 中間評価	令和10年度 中間評価	令和10年度 中間評価

3-2 金沢・高岡・白川郷・高山などの広域観光の拠点の1つとなるネットワークの充実を図る。(実施主体:市・JR西日本・バス事業者)

評価項目 観光流動の上昇

達成目標	令和6年度	令和7年度
都市間観光関連路線の利用者数は2019年度の値を上回る。※6. 65万人	未達成 (利用者数:4. 42万人 達成率:66. 5%)	未達成 (利用者数:4. 34万人 達成率:65. 3%)

●各事業の実施状況

事業内容	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容	令和8年度以降の取り組み
本市は、富山・高岡・金沢・白川郷・高山など観光ポテンシャルの高い都市の中央に位置していることから、高速バスを含む都市間基幹バスや城端線を活かして、広域観光ネットワークの拠点となることを目指す。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
加越能バスの南砺金沢線は、金沢市内への移動や、福井・関西・中京方面への利便性の向上にもつながる重要路線として広報・利用促進を積極的に展開する。	南砺金沢線や世界遺産バスが乗り放題となるフリーパスを販売し、観光客の利用促進に努めた。南砺金沢線のチラシを作成し、利用促進を実施した。	南砺金沢線や世界遺産バスが乗り放題となるフリーパスを販売し、観光客の利用促進に努めた。南砺金沢線のチラシを作成し、利用促進を実施した。	南砺金沢線や世界遺産バスが乗り放題となるフリーパスを販売し、観光客の利用促進に努める。南砺金沢線のチラシを作成し、利用促進を実施。その中で新施設への接続を紹介する。
城端駅は、高岡・白川郷・高山などへの都市間バスが発着しており、これらの充実とともに金沢方面からのバス路線誘致も含めて、広域的なハブ機能を有する駅を目指す。	令和10年度 中間評価	令和10年度 中間評価	令和10年度 中間評価

目標4. 誰もが利用でき、便利で安全快適に移動できる地域交通サービスを導入する

4-1 基幹路線と市営バスではカバーできない交通ニーズに対応する新たなシステムを検討し、必要に応じて実証実験を行う。(実施主体 市・市民・大学等)

評価項目 デマンド運行、ライドシェア等を含めた新たな交通システムの検討、社会実験の実施

達成目標	令和6年度	令和7年度
新たな地域交通システム等について実証実験を行うとともに本格運行を目指す	達成 (井波地域デマンドタクシー、公共ライドシェア事業実施)	達成 (城端地域デマンドタクシー事業実施)

●各事業の実施状況

事業内容	令和6年度の実施内容	令和7年度の実施内容	令和8年度以降の取り組み
デマンド型の路線について、タクシー事業者との連携を念頭に実証運行等によって検証するとともに、本格運行を目指す。	JR城端線の駅が無い井波地域で、身近な公民館や病院、ショッピングセンターなどをバス停とした予約に基づくデマンドタクシー型の運行を実施した。	市営バス路線再編として、城端東回り線の全便、城端西回り線の一部便を休止し、城端地域内を運行エリアとした城端地域デマンドタクシー事業の実証運行を実施した。	市営バス路線再編と合わせて、城端地域、井波地域のほかに、デマンドタクシー事業の実施が可能な地域を検討する。
レンタサイクル、カーシェアリングなどを含めて市民の移動全体をカバーできるシステムを検討する。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
祭り、音楽祭、イベント等の際の送迎バスの公共交通化(21条運行など)も検討する。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価
SDGs未来都市として持続可能で低炭素なまちづくりに資する電動車両や、運行手人材の不足等の課題解決を見据えた自動運転技術の導入、実証運行等を検討する。	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価	令和9年度 中間評価

【富山県南砺市】子どもの放課後クラブ活動送迎 共助版ライドシェア実証運行事業

「交通空白」解消タ

資料 4

事業費

事業全体費用：14,810千円、補助対象経費14,810千円
(補助金申請見込額12,349千円)

事業主体/運行主体

事業主体：(一社)イドウラボ
運行主体：保護者・住民相互送迎(福光タクシー(株)と契約)
+福光タクシー(株)(運行管理・ドライバー確保等)

事業背景・目的

- 部活動の地域展開に伴い放課後送迎が保護者に依存(R7調査：クラブ活動生徒の66%が毎回自家用車送迎、うち送迎課題あり約8割)
- 今後3年で地域クラブ活動へ完全移行→送迎距離・頻度さらに増加見通し。約5割が乗合送迎サービス利用意向あり(72%が有償でも利用可能)
- 放課後16-19時の子どもクラブ活動送迎に特化した交通サービスの構築が急務
- 福光タクシーで子供送迎部門を立ち上げ住民ドライバーと契約。健康診断や車両点検運行管理を担うことで安全を担保を目指す
- 遊休車両の棚卸しも並行実施を予定

事業概要

交通サービス	共助版ライドシェア(保護者相互送迎+市内のその他地域公共交通によるバックアップ)
運行形態	区域運行(活動場所に応じた半固定ルート)
法的区分	許可不要型(共助版)
運行頻度	月～金 放課後16:00～19:00、1日3ルート～
会費	月会費¥2,000/人 (燃料費、ドライバーの1日保険などの実費を賄う)
実施内容	保護者相互送迎を基本とし、送迎不足曜日は市内のその他地域公共交通で補完。福光タクシーが安全講習等で協力。2ヶ月間のPoC。

運行期間

令和8年10月19日～令和8年12月11日(約2ヶ月間)

事業実施地域

「交通空白」地区名：南砺市(なんとし)
福光・福野・井波地域など



- 南砺市福光・福野・井波地域等の地域型クラブ活動拠点と各学区を結ぶ送迎ルート。片道約20～30分。

事業イメージ



- 保護者が送迎当番制で乗り合い送迎を実施。送迎不足曜日は市内のその他地域公共交通で補完。地域有志ドライバーも募集
- LINE等で保護者・ドライバー間を連携できる仕組みを活用。
- 南砺市内の各地域単位でドライバーを公募し、地域単位→各クラブへ送迎する仕組みの可能性を検証する。

見込まれる事業効果

【定性・定量効果】

- ・実証運行約2ヶ月間(計約40日)利用者数：約480人・回(4名×3ルート×40日)。対象クラブ：1～2(サッカー・野球)
- ・送迎負担軽減世帯：約10～20世帯。
- ・検証指標：保護者満足度・送迎時間削減効果を定量計測

【「交通空白」への効果】

南砺市福光・福野・井波地域等の放課後(16-19時)のクラブ活動への送迎負担軽減。

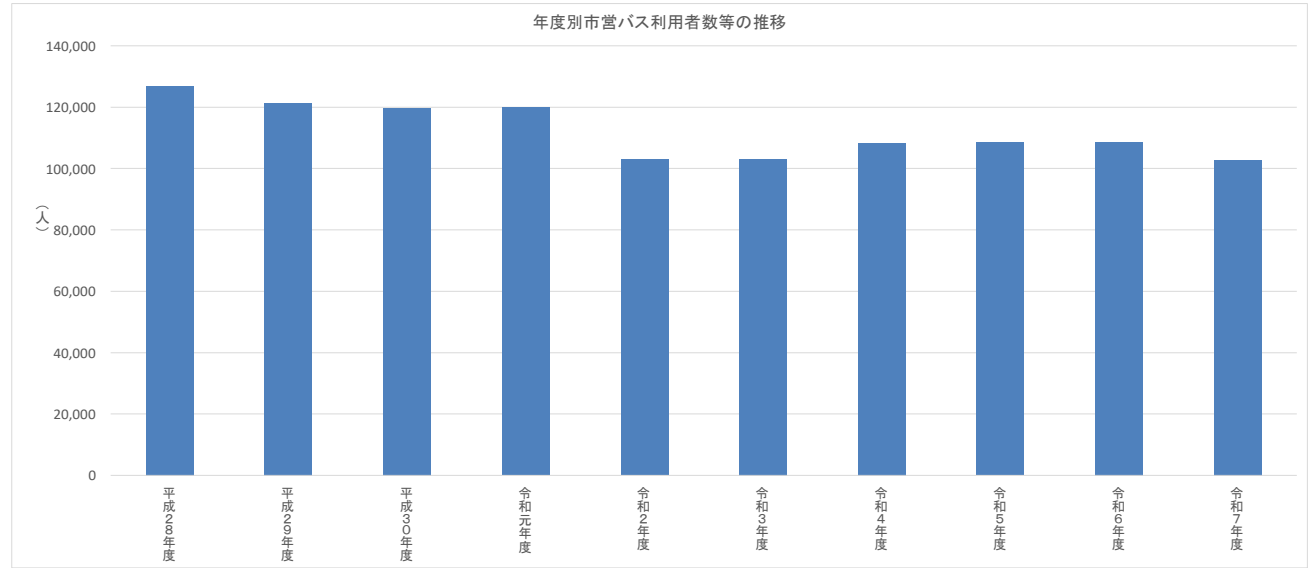
資料 5

年度別市営バス利用者数等の推移

単位：人

路線名		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		利用者数	便平均	利用者数	便平均	利用者数	便平均	利用者数	便平均	利用者数	便平均	利用者数	便平均	利用者数	便平均	利用者数	便平均	利用者数	便平均	利用者数	便平均
城端	城端東回り線	4,116	3.4	3,447	2.8	2,913	2.4	2,473	2.1	2,153	1.8	2,061	1.7	2,740	2.3	2,434	2.0	2,612	2.2	1,998	1.9
	城端西回り線	3,277	2.7	2,783	2.3	2,651	2.2	2,956	2.5	2,793	2.3	2,202	1.8	1,871	1.5	2,148	1.8	1,674	1.4	932	1.5
	祖山線	1,361	0.6	1,460	0.6	1,313	0.5	1,473	0.6	1,062	0.4	812	0.3	847	0.5	746	0.4	717	0.5	664	0.4
平	小来栖線	46	—	41	—	40	—	24	2.0	6	2.0	1	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	田向線	28	—	37	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
利賀	村内線(上利賀)	2,504	5.2	2,751	5.6	2,075	4.3	1,692	3.5	848	3.5	2,502	5.2	1,939	4.0	413	0.9	934	1.9	865	1.8
	村内線(上百瀬)	1,150	2.4	1,499	3.1	1,018	2.1	889	1.9	23	0.1	612	1.3	380	0.8	1,039	1.4	1,303	1.8	1,150	1.6
	村内線(豆谷)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	191	0.8	184	0.7	179	0.7	179	0.7	177	0.7
	村内線(オンデマンド)	1,036	—	1,026	—	1,012	—	943	—	741	—	837	—	722	—	508	—	363	—	287	—
福野	安居循環線	1,804	1.9	1,676	1.7	2,519	2.6	2,310	2.4	2,527	2.6	3,290	3.4	2,907	3.0	2,567	2.6	2,611	2.7	2,865	3.0
	右回り	349	0.7	710	1.5	1,525	3.1	1,314	2.7	1,311	2.7	3,021	6.2	2,670	5.5	2,332	4.8	2,295	4.7	2,573	5.3
	左回り	1,455	3.0	966	2.0	994	2.0	996	2.1	1,216	2.5	269	0.6	237	0.5	235	0.5	316	0.7	292	0.6
福光	立美循環線	2,970	2.4	3,325	2.7	3,213	2.6	3,403	2.8	2,486	2.0	2,271	1.9	2,060	1.7	1,979	1.6	2,120	1.7	1,884	1.6
	右回り	1,220	2.5	1,236	2.5	1,069	2.2	1,125	2.4	893	1.8	673	1.4	713	1.5	871	1.8	969	2.0	724	1.5
	左回り	1,750	2.4	2,089	2.9	2,144	2.9	2,278	3.2	1,593	2.2	1,598	2.2	1,347	1.9	1,108	1.5	1,154	1.6	1,160	1.6
	土山線	5,702	2.1	4,910	1.8	5,551	2.3	4,652	1.9	3,373	1.4	2,786	1.2	3,750	1.5	3,241	1.3	2,990	1.2	2,955	1.2
	城端さくら線	24,079	6.7	26,366	7.3	23,692	6.5	23,013	6.3	19,695	5.4	20,820	5.8	24,455	6.8	27,981	7.7	27,520	7.7	24,018	6.7
区域間	城端井波線	5,966	2.5	5,826	2.2	6,377	1.9	7,130	1.8	4,668	1.9	4,053	1.7	4,529	1.9	5,071	2.1	5,198	2.1	5,850	2.4
	通常運行分	5,966	2.5	5,631	2.3	5,500	2.3	5,974	2.5	4,668	1.9	4,053	1.7	4,529	1.9	5,071	2.1	5,198	2.1	5,850	2.4
	休日美証運行分	—	—	195	0.4	877	1.0	1,156	1.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	南砺中央病院線	5,064	2.6	5,573	2.9	5,870	3.0	6,192	3.2	4,400	2.3	3,716	1.9	3,412	1.8	4,005	2.1	4,580	4.7	5,275	5.4
	成出城端線	9,862	7.0	7,081	5.0	10,519	7.4	10,109	10.6	9,550	10.2	10,557	7.3	11,271	7.7	11,591	8.0	11,433	7.8	10,037	5.9
区域間	成出～城端駅	3,254	4.5	2,890	4.0	5,354	7.3	4,871	6.8	3,938	5.4	3,956	5.4	4,690	6.4	4,822	6.4	5,026	6.7	4,772	4.9
	城端駅→平高校(火～金、月末)	2,779	14.3	1,607	8.1	2,205	10.9	3,084	12.9	2,456	12.9	2,949	15.0	2,685	11.0	2,819	12.8	2,769	12.6	2,436	8.5
	平高校→城端駅	3,829	7.9	2,584	5.3	2,960	6.1	2,154	4.5	3,156	6.5	3,652	7.5	3,896	8.0	3,950	8.1	3,638	7.5	3,013	6.2
	下梨井波線	1,068	2.7	1,019	2.6	921	2.3	1,008	2.6	784	2.0	853	2.2	705	1.8	584	1.5	625	1.6	573	1.5
	利賀井波線	6,613	3.0	5,654	2.6	4,431	2.0	5,216	2.4	4,624	2.1	6,254	2.9	5,936	2.7	4,635	2.1	4,407	2.0	4,633	2.1
	利賀八尾線	3,812	2.6	4,654	3.2	4,873	3.4	4,101	2.8	2,210	1.5	2,768	1.9	3,229	2.2	2,941	2.0	3,146	2.2	3,407	2.4
	福野・井波・井口循環線	12,855	4.4	12,210	4.6	9,983	3.7	10,767	4.0	9,801	3.4	10,540	4.0	11,514	4.3	10,232	3.8	10,694	3.4	12,004	3.8
	右回り	9,021	6.2	7,761	5.3	6,319	4.3	6,536	4.5	6,358	4.4	6,672	4.6	7,000	4.8	6,306	4.3	6,585	3.9	7,542	4.4
	左回り	3,834	2.6	4,449	3.7	3,664	3.0	4,231	3.5	3,443	2.4	3,868	3.2	4,514	3.7	3,926	3.2	4,109	2.8	4,462	3.1
	福光・福野循環線	16,508	5.7	14,723	5.0	13,656	4.7	12,293	4.3	11,392	3.9	12,092	4.2	12,510	4.3	12,391	4.2	12,568	4.3	12,370	4.3
区域間	右回り	8,839	6.1	8,062	5.5	7,512	5.1	6,629	4.6	6,263	4.3	6,685	4.6	7,089	4.9	6,687	4.6	6,846	4.7	6,629	4.6
	左回り	7,669	5.3	6,661	4.7	6,144	4.2	5,664	3.9	5,129	3.5	5,407	3.7	5,421	3.7	5,704	3.9	5,722	3.9	5,741	4.0
	井波福光線	17,082	5.9	15,304	10.6	16,987	11.8	14,715	10.2	10,780	6.3	5,191	3.1	5,071	3.0	5,558	3.3	5,639	3.3	4,382	2.0
	立野脇線	—	—	—	—	—	—	4,525	4.8	9,054	4.7	8,711	3.6	8,197	3.4	7,711	3.2	6,917	2.9	5,942	2.5
	城端(R7.10～)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	312	—
	井波(R4.10～) (※R4.12は3カ月間)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	157	—	489	—	317	—	219	—
	合計	126,875	—	121,328	—	119,614	—	119,884	—	102,970	—	103,120	—	108,386	—	108,443	—	108,547	—	102,799	—
	市営バス利用料収入(円)	18,303,094		16,734,988		16,930,972		16,393,587		13,787,975		13,813,304		14,288,732		13,898,578		13,683,840		12,889,558	

※令和2年度の1便あたり最大乗車人数は、令和2年12月5～11日に実施した乗降調査の実績(デマンド運行除く)を記載した。



世界遺産バス年度別（H29～R7年度）利用者数

単位：人

	世界遺産バス乗降調査集計表（高岡営業所）														城端～白川郷線 乗降調査集計表（砺波営業所）											年度計
	往路（高岡発）						復路（白川郷発）						合計	往路（城端発）					復路（白川郷発）					合計		
	8:10発	9:35発	10:45発	13:20発	16:00発	小計	7:00発	11:45発	13:50発	14:45発	16:00発	小計		7:20発	8:10発	11:05発	12:45発	小計	9:15発	10:15発	12:50発	15:35発	小計			
H29年度	7,612	7,209	7,656	5,465	3,595	31,537	2,752	6,106	7,918	6,826	6,732	30,334	61,871	2,833	610	1,052	985	5,480	2,790	684	1,146	788	5,408	10,888	72,759	
H30年度	7,841	7,518	7,891	5,855	3,924	33,029	3,038	6,385	8,152	6,548	7,210	31,333	64,362	2,550	633	1,099	1,170	5,452	2,600	831	1,259	873	5,563	11,015	75,377	
R元年度	6,488	6,331	6,583	5,393	3,305	28,100	2,482	5,966	7,237	5,542	5,666	26,893	54,993	2,423	629	1,024	1,106	5,182	2,484	923	1,184	720	5,311	10,493	65,486	
R2年度	1,914	2,013	1,937	1,955	2,159	9,978	1,199	2,411	2,000	1,693	2,021	9,324	19,302	1,941	0	0	0	1,941	838	0	0	0	838	2,779	22,081	
R3年度	2,321	2,414	279	2,510	419	7,943	328	3,326	2,716	311	2,940	9,621	17,564	2,554	0	0	0	2,554	1,113	0	0	0	1,113	3,667	21,231	
R4年度	3,987	5,243	2,430	3,552	0	15,212	0	4,843	4,585	2,196	4,190	15,814	31,026	3,237	0	0	0	3,237	1,668	0	0	0	1,668	4,905	35,931	
R5年度	5,554	5,903	4,326	4,275	0	20,058	0	5,437	5,597	4,378	5,159	20,571	40,629	2,868	0	0	0	2,868	2,615	0	0	0	2,615	5,483	46,112	
R6年度	5,538	6,255	4,642	3,984	0	20,419	0	5,434	5,863	4,650	5,384	21,331	41,750	2,491	0	0	0	2,491	2,255	0	0	0	2,255	4,746	46,496	
R7年度	4,850	6,656	4,983	3,749	0	20,238	0	5,397	5,975	4,501	5,170	21,043	41,281	2,248	0	0	0	2,248	2,169	0	0	0	2,169	4,417	45,698	

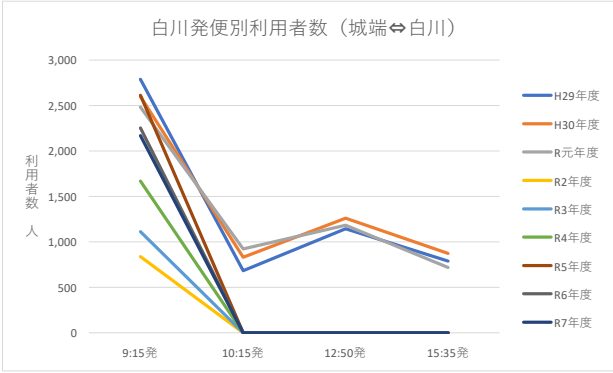
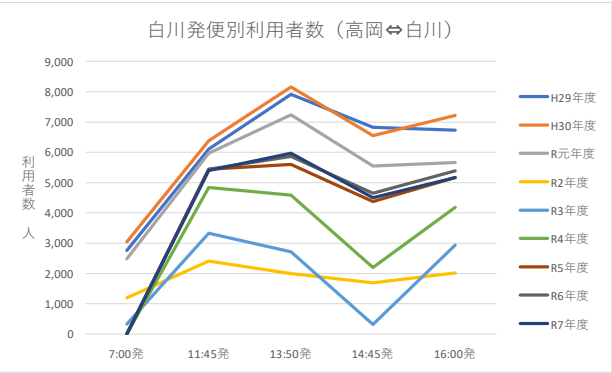
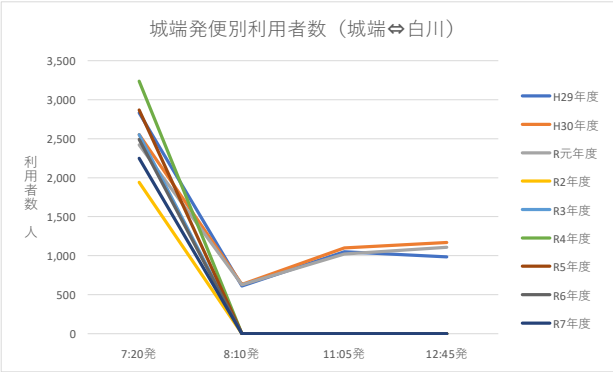
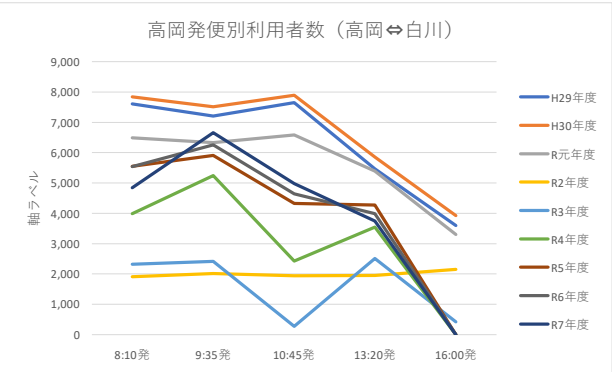
※令和2年4月29日から、土日祝日に運行するシャトルバス3往復は運休

※令和3年7月1日から、平日運行6往復のうち2往復は運休

※令和4年10月1日から、平日は5往復で運行

【参考】なんバス回数券 利用者数集計（R6～R7）

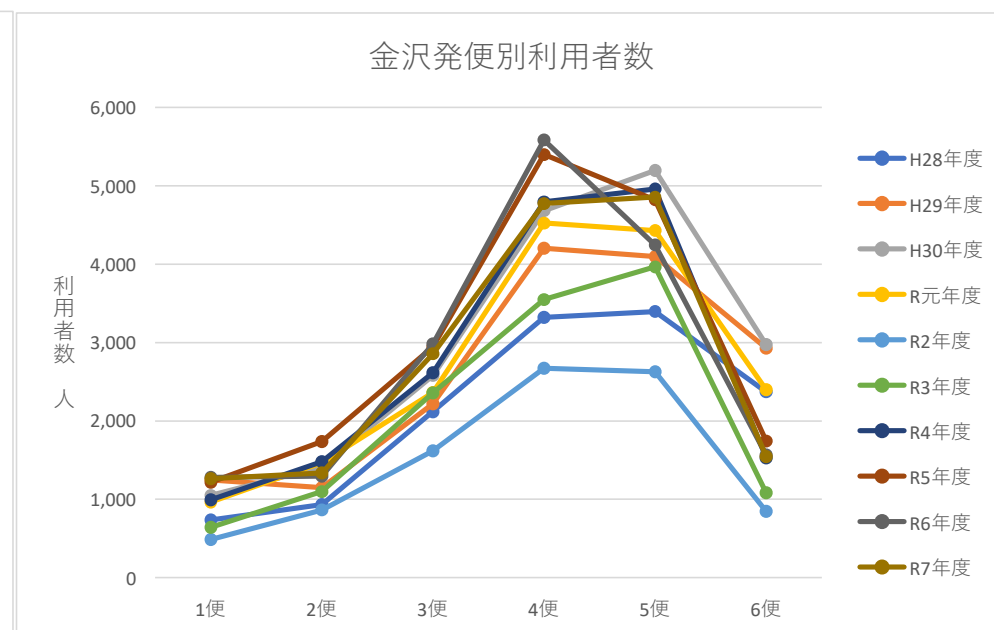
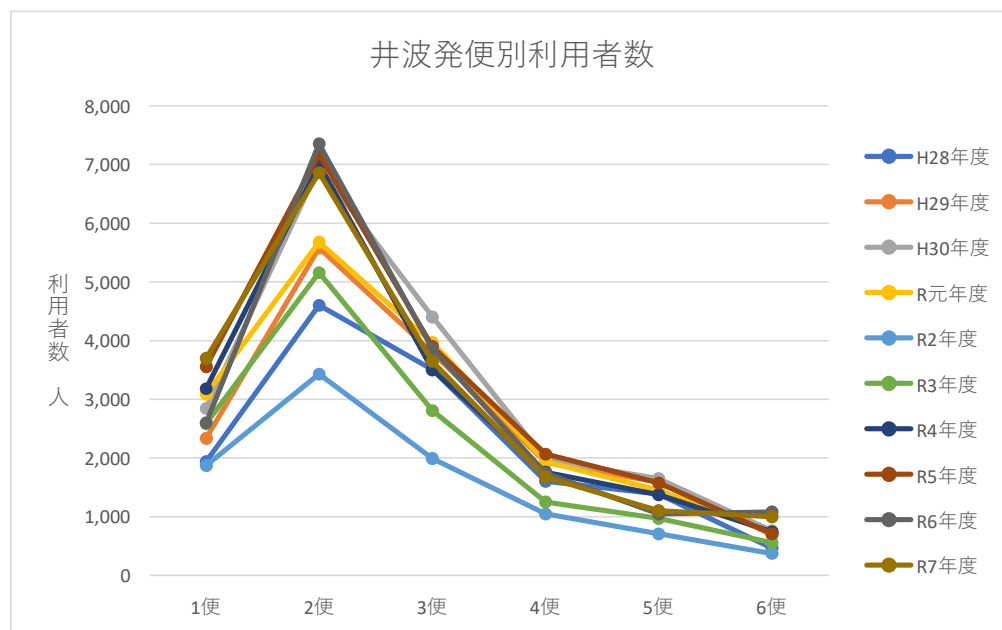
	世界遺産バス 大人	南砺金沢線 シルバーバス	合計
R5年度	6,439	686	7,125
R6年度	5,564	709	6,273
R7年度	5,174	482	5,656



南砺金沢線年度別（H28～R7年度）利用者数

単位：人

	井波発							金沢駅発							合計
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	小計	1便	2便	3便	4便	5便	6便	小計	
H28年度	1,936	4,600	3,508	1,602	1,385	462	13,493	736	932	2,119	3,323	3,396	2,370	12,876	26,369
H29年度	2,335	5,579	3,796	1,928	1,590	694	15,922	1,247	1,150	2,218	4,205	4,096	2,928	15,844	31,766
H30年度	2,845	6,954	4,404	1,974	1,650	758	18,557	1,047	1,413	2,578	4,682	5,196	2,975	17,891	36,448
R元年度	3,085	5,678	3,966	1,936	1,453	728	16,846	963	1,468	2,359	4,525	4,430	2,399	16,144	32,990
R2年度	1,870	3,430	1,993	1,048	707	374	9,422	485	864	1,617	2,674	2,627	848	9,115	18,537
R3年度	2,586	5,157	2,807	1,252	974	556	13,332	641	1,098	2,356	3,547	3,964	1,082	12,688	26,020
R4年度	3,180	7,005	3,505	1,755	1,375	741	17,561	991	1,479	2,613	4,794	4,961	1,529	16,367	33,928
R5年度	3,558	7,179	3,900	2,066	1,575	708	18,986	1,217	1,734	2,945	5,399	4,822	1,741	17,858	36,844
R6年度	2,601	7,355	3,861	1,743	1,047	1,085	17,692	1,280	1,294	2,983	5,587	4,245	1,565	16,954	34,646
R7年度	3,697	6,861	3,646	1,675	1,102	999	17,980	1,263	1,335	2,857	4,774	4,855	1,546	16,630	34,610



井波地域デマンドタクシー事業 城端地域デマンドタクシー事業の実施状況について

1. 運行概要

井波地域

J R 城端線の駅が無い井波地域で、身近な公民館や病院、ショッピングセンターなどをバス停とした井波地域デマンドタクシー事業を実施。

城端地域

市営バス路線再編の取組として、利用者数の少ない城端東・西回り線を休止し、その代替手段として最寄りのバス停まで歩く必要がなく、自宅等から目的のバス停まで直接行くことができるデマンドタクシー事業を実施。

＜運行方法＞デマンドタクシー

＜運行時間＞9時から16時まで（平日のみ）

＜予約方法＞電話予約（事前予約制） 井波地域 当日4時間前まで 城端地域 当日1時間前まで

＜対象者＞予約をいただいた全ての方

＜運賃＞1乗車1人500円（障がい者・その介護者の方は半額250円）

2. 利用実績（令和8年2月～6月）

井波地域 運行回数：113回 利用人数：113人

城端地域 運行回数：405回 利用人数：414人

3. 総括

井波地域・城端地域

令和8年4月からの事業改善である「当日予約対応」を可能にしたことで、利便性が向上し一定の利用者増加に繋がったと考えられる。

井波地域

利用実績が少なく、利用者や目的地の固定化が顕著であることから、高齢者の病院への移動手段に留まらず、井波地域の利便性の高い地域内交通として、市民に更なる利用周知を行う必要がある。

城端地域

利用目的の属性としては通院、通勤、買い物、他公共交通への乗り継ぎが主なものであるが、一部観光で訪れた方の利用が見られたことから、J R 城端駅から城端地域内観光の移動手段としての利用が今後も増えることが予想される。

4. 利用者からの要望事項

井波地域・城端地域 土日祝日も運行してほしい。

井波地域 当日予約の時間を短縮してほしい（4時間前→1時間前）

城端地域 城端地域外（井口地域）からの自由乗降を可能にしてほしい。

5. 今後の検討事項

- ・要望事項への対応について各委託事業者と協議を行う。
- ・アプリ「なんモビ」からの乗車予約を可能とすることについて各委託事業者と協議を行う。

自宅から井波地域内の停留所まで直接移動ができます！

井波地域デマンドタクシー

運行時間：平日9時～16時

利用運賃：1人1乗車500円（障がい者・介護者の方は半額250円）

対象者：ご予約いただいた全ての方

運行区域：南砺市井波地域

運行ルート

- ①希望の乗車場所（井波地域内）から 本事業用の停留所
- ②本事業用の停留所から 希望の降車場所（井波地域内）
- ③本事業用の停留所から 本事業用の停留所

予約方法

**利用希望日の当日4時間前までに
電話で利用予約が必要です**

受付時間：平日9時～17時

電話番号：0763-82-0169

（運行事業者：チューリップ交通株式会社）

ご予約の際は、
「井波地域デマンドタクシー」の予約であることをお伝えいただき、①～⑤の内容をご予約ください。

- ①お名前 ②電話番号 ③乗車場所
④降車場所 ⑤利用希望日時**

※停留所以外の場所については、自宅等の住所をお伝えください。

※予約完了後は予約された日時に乗車場所でお待ちください。

※利用運賃500円は乗車時に現金でお支払いください。

【予約例】

乗車場所：自宅（井波地域内）

降車場所：「南砺市民病院」市営バス停

希望日時：4月1日10時30分

利用可能停留所一覧

井波	山野	南山見
瑞泉寺山門前	「山野交流センター」市営バス停	南山見交流センター
よいとこ井波	坪野会館	「院瀬見東」市営バス停
「瑞泉寺前交通広場」市営バス停	「井波交番前」市営バス停	「院瀬見」市営バス停
上新町（中山彫刻店前）	山斐公民館	「院瀬見西」市営バス停
中新町公民館	「岩屋公民館前」市営バス停	東城寺公民館
旧井波駅前	飛騨屋公民館	「東城寺」市営バス停
「井波」市営バス停	「飛騨屋」市営バス停	清玄寺公民館
「アスモ」市営バス停	野能原公民館	連代寺公民館
山下町公民館	軸屋公民館	志観寺（ごみステーション前）
加越能バス今町バス停横	安室公民館	谷公民館
今町二区公民館	「安室」市営バス停	「マーン園前」市営バス停
今町三区（野村プロパン前）	清水明公民館	戸板公民館
「今町3区」市営バス停	高屋公民館	「五箇島」市営バス停
今町四区公民館	専勝寺公民館	里領公民館
「北川」市営バス停	「専勝寺」市営バス停	「川原崎公民館前」市営バス停
栄町公民館	清水橋バス停（西側）	沖公民館
末広町公民館	37BASE	「沖」市営バス停
木崎野町公民館	高瀬	南山見新公民館
東町（ごみステーション前）	高瀬交流センター	病院・歯科医院
北川公民館	神子畑会館	「南砺市民病院」市営バス停 （南側中央玄関前）
「木彫りの里」市営バス停	勸学院公民館	鷹西医院
常永寺前	大宮司公民館	花の杜石坂内科醫院
松島公民館	愛農公民館	山見内科医院
藤橋不動尊前	信農公民館	林歯科医院
西別院前	「三清東ふれあいセンター前」市営バス停	山本歯科クリニック
上山見公民館	高瀬神社前	山本武夫歯科医院
下山見公民館		公共施設
		井波児童公園前
		南砺市地域包括ケアセンター
		井波総合文化センター （ミントウ井波文化ホール）
		いなみ交流館ラフォーレ
		井波社会体育館



利用上の注意

- ◇車両数に限りがあるため、当日予約の場合や、同時時間帯に予約が集中した場合は希望の時間帯に利用できない場合があります。
- ◇通常のタクシー運行ではないため、乗降場所のどちらか片方もしくはその両方において、本事業用の停留所を選択していただく必要があります。
- ◇乗車予約時刻の5分前には乗車場所でお待ちください。
- ◇予約いただいた日時になっても乗車場所にお客様がいない場合、運行を終了いたします。
- ◇市営バス回数券や定期券、シルバーバス等のご利用できません。

自宅からバス停まで直接移動ができます！

城端地域デマンドタクシー

運行時間：平日9時～16時

利用運賃：1人1乗車500円（障がい者・介護者の方は半額250円）

対象者：ご予約いただいた全ての方

運行区域：南砺市城端地域（一部福光地域、井口地域を含む）

運行ルート

- ①希望の乗車場所（城端地域内） から 城端東・西回り線のバス停
- ②城端東・西回り線のバス停 から 希望の降車場所（城端地域内）
- ③城端東・西回り線のバス停 から 城端東・西回り線のバス停

予約方法

**利用希望日の当日1時間前までに
電話で利用予約が必要です**

受付時間：9時～17時（土日祝含む）

電話番号：0763-62-0046

（運行事業者：城端タクシー（有）松島商店）

ご予約の際は、

「城端地域デマンドタクシー」の予約であることをお伝えいただき、①～⑤の内容をご予約ください。

①お名前 ②電話番号 ③乗車場所

④降車場所 ⑤利用希望日時

※バス停以外の場所については、自宅等の住所をお伝えください。

※予約完了後は予約された日時に乗車場所でお待ちください。

※利用運賃500円は乗車時に現金でお支払いください。

【予約例】

乗車場所：自宅（城端地域内）

降車場所：ローソン角バス停

希望日時：10月1日10時30分

利用可能バス停一覧

じょうはな座前	菰谷口	信末公民館	上見
宮崎針灸前	安楽寺前	是安東通り	塔尾口
理休神社前	牧印刷前	北野公会堂	塔尾公民館
美山荘	東上山蔵前	菊賀	上原
うらら	泉沢団地前	亀川橋北詰	立野原橋口
さくら保育園・JA前	林道公民館前	吉松集会所	桜ヶ池クアガーデン
城端別院善徳寺前	打尾	北野ふれあいセンター	南原
ローソン角	若松製作所前	長楽寺	千福信号前
JR城端駅前	大鋸屋転作会館	次郎丸集会所	野口営農角
是安	大鋸屋神社前	次郎丸	野口交差点
細木	中尾口	山口	千福公民館前
中川（株）前	大谷島	東西原公民館前	専徳寺前
大窪今川宅東	瀬戸	西明公民館前	山田新
北陸病院入口	盛新公民館前	細野公民館前	松田外科前
北陸病院	下中尾	愛菜ふれあい館前	細木陸橋南交差点
南砺中央病院	川上中集落センター	ゆ～ゆうランド花椿	

利用上の注意

- ◇車両数に限りがあるため、当日予約の場合や、同時間帯に予約が集中した場合は希望の時間帯に利用できない場合があります。
- ◇通常のタクシー運行ではなく、市営バス運行の代替手段のため、**乗降場所のどちらか片方もしくはその両方において、城端東・西回り線のバス停を選択していただく必要があります。**
- ◇予約後に予約の変更またはキャンセルをされる場合は、必ず利用日時の1時間前までに運行事業者にご連絡ください。※乗車予約時刻の5分前には乗車場所でお待ちください。
- ◇予約いただいた日時になっても乗車場所にお客様がいない場合、運行を終了いたします。
- ◇市営バス回数券や定期券、シルバーバス等のご利用できません。

城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画の取組について

1. 交通系 IC カードの導入

- ・令和 8 年 3 月 14 日（土）全駅サービス開始
- ・全体の利用のうち、約 50% が IC 利用となっている。



2. 新型車両模型サテライト展示実施

新型車両模型（1/35）を沿線 4 市でサテライト展示を実施。

南砺市での展示：令和 8 年 2 月 21 日（土）～23 日（月・祝）

ショッピング ア・ミュー

路線駅名入りの風船配布



3. 気運醸成の取組

- ・令和 8 年 3 月 30 日から高岡駅で新型車両の
原寸大シートの展示を実施。
- ・福野小学校で気運醸成事業実施
6 年生（105 名）城端線・氷見線の説明
3 年生（96 名）乗車体験（福野駅～城端駅）
10 月下旬に実施予定
- ・子ども向けチラシ作成 など



4. 各駅の取組について

【城端駅】

地元有志で城端駅再構築検討委員会が設立され、駅舎の利活用や駅周辺エリアの再構築について協議し、民間主導による持続可能な駅のあり方を描くことを目的とし、活動を開始。

【福野駅】

南砺市観光協会福野支部退去後のスペース（18.68 m²）に机・椅子を搬入し、自習スペースとして解放。

今後、「なんと未来創造塾 なんチャレ 2026」において、若者による空きスペース活用アイデアを検討。



5. 駅工事について

令和 9 年から市内各駅について、地元説明を経てホーム工事等順次開始予定。